

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和元年8月

(2) 評価の方法

本市教育委員会事務局内において事後評価を実施。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標を達成できた。
学校施設の老朽化が進んでおり、非構造部材の耐震化やトイレ改修、長寿命化改修が喫緊の課題といえる。また、個別施設計画の策定が必要であり、今後も、厳しい財政状況ではあるが、計画的かつ効率的に実施できるよう努めたい。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

伏虎義務教育学校のテニスコートを含むグラウンド整備を行い、部活や授業時の利便性を高めた。また、旧校舎を解体し、外構工事を行うことによって、グラウンドがより使いやすくなった。

また、旧雄湊小学校のグラウンドを、伏虎義務教育学校のサブグラウンドとして整地及び防球ネットを高く整備することで、主に野球部等の部活動の練習場として普段活用し、球技大会等の学校行事開催時に使用できるよう教育環境の改善を図ることができた。

大規模改造事業(トイレ)においては小学校10校のトイレを改修し、老朽化した学校トイレの洋式化、バリアフリー化、男女別化を実施した。学校トイレの改修は快適な学校生活を実現するうえで不可欠であり、今後も計画的に進めていく。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

--

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
伏虎義務教育学校(Ⅲ期工事)	(4)	07	屋外教育環境	校	-	H27.7～H29.11	H29.10.31		
伏虎義務教育学校	(4)	07	屋外教育環境	校	-	H29.7～H30.1	H30.1.9		
広瀬小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.11.8		
砂山小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.10.29		
新南小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.11.12		
四箇郷小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.10.2		
西脇小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.10.4		
野崎小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.9.26		
名草小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.10.15		
太田小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.10.3		
高松小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.10.9		
宮北小学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	校	-	H30.3～H30.3	H30.10.10		